

ピアサポーターが主催する成城大学の「時間割相談」

佐々木貴之、肥田奈緒子、山南久美（教育イノベーションセンター）
中山駿介、萩谷維摩、美濃哲平（ピアサポーター）

1. はじめに

「時間割相談」発足の経緯

ピアサポーター設立当初、「自分たちが入学時に一番悩んだことは時間割の組み方だった」「新入生の不安や疑問を学生ならではの視点でアドバイスできるのではないか」という学生からの発案により発足したサポート活動のひとつ。

- 2018年度4月に新入生を対象としてスタート
- ピアサポーターの活動理念「教職学協働」(後述)を活かす

2. 成城大学の基本情報

所在地
東京都世田谷区成城6-1-20

学部(4学部11学科)
経済学部、文芸学部
法学部、社会イノベーション学部

研究科(4研究科10専攻)
経済学研究科、文学研究科
法学研究科、社会イノベーション研究科

学生数
- 学部生 5,414人
- 大学院生 73人

3. 成城大学ピアサポーターとは？！

設立
2017年4月

コンセプト
「学生同士の『学び合い』の促進」
有志の学部生・大学院生により構成されている。

ファシリテーションスキル
や**コーチングスキル**などの養成研修を受講した上で各活動に参加する。



研修カリキュラム

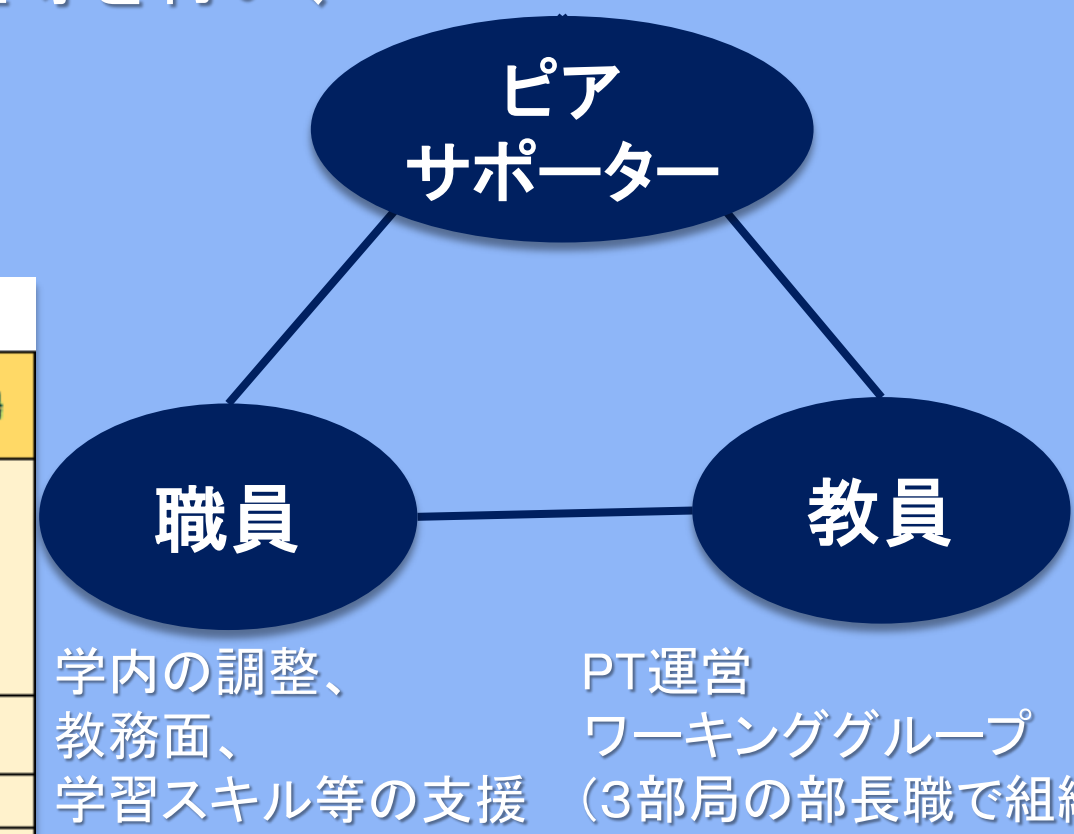
分野	研修名		アウトプット(活動)の場
	基礎	発展	
コアスキル	①自らの学びをデザインする ②ピアチューリングに必要とされるスキルの理解と習得(基礎) ③多様性の理解とコミュニケーションスキルの習得	・ピアチューリングに必要とされるスキルの理解と習得(発展) *時期未定(希望により開催)	時間割相談(4月) ピアサポ交流会(9月) サポーターフォーラム(11月)
専門スキル	④ファシリテーションに必要とされるスキルの理解と習得	・在学生ファシリテーター養成研修 ・レポートの作成支援の方法 *時期未定(希望により開催)	授業サポート(5~7月、9~1月) 入学準備プログラム(2月) サポートデスク(随時)

活動内容(無償)

学習サポート/時間割相談/レポートの書き方講座/入学準備プログラム/各種講座・イベント実施/授業サポート(有償)

教職学協働

学生の自主性を尊重すべく、教職員が研修制度の確立や活動支援等に深く関わり、学内調整等を行い、支援を行っている。



4. 「時間割相談」の準備

◆準備: 事前研修「履修の手引」読み方講座」

(職員から学生に対して実施)

◆相談対応準備

- 事前予約用Googleフォームの作成
- 受付管理表の作成(当日受付含む)
- Slackのチャンネル作成・登録

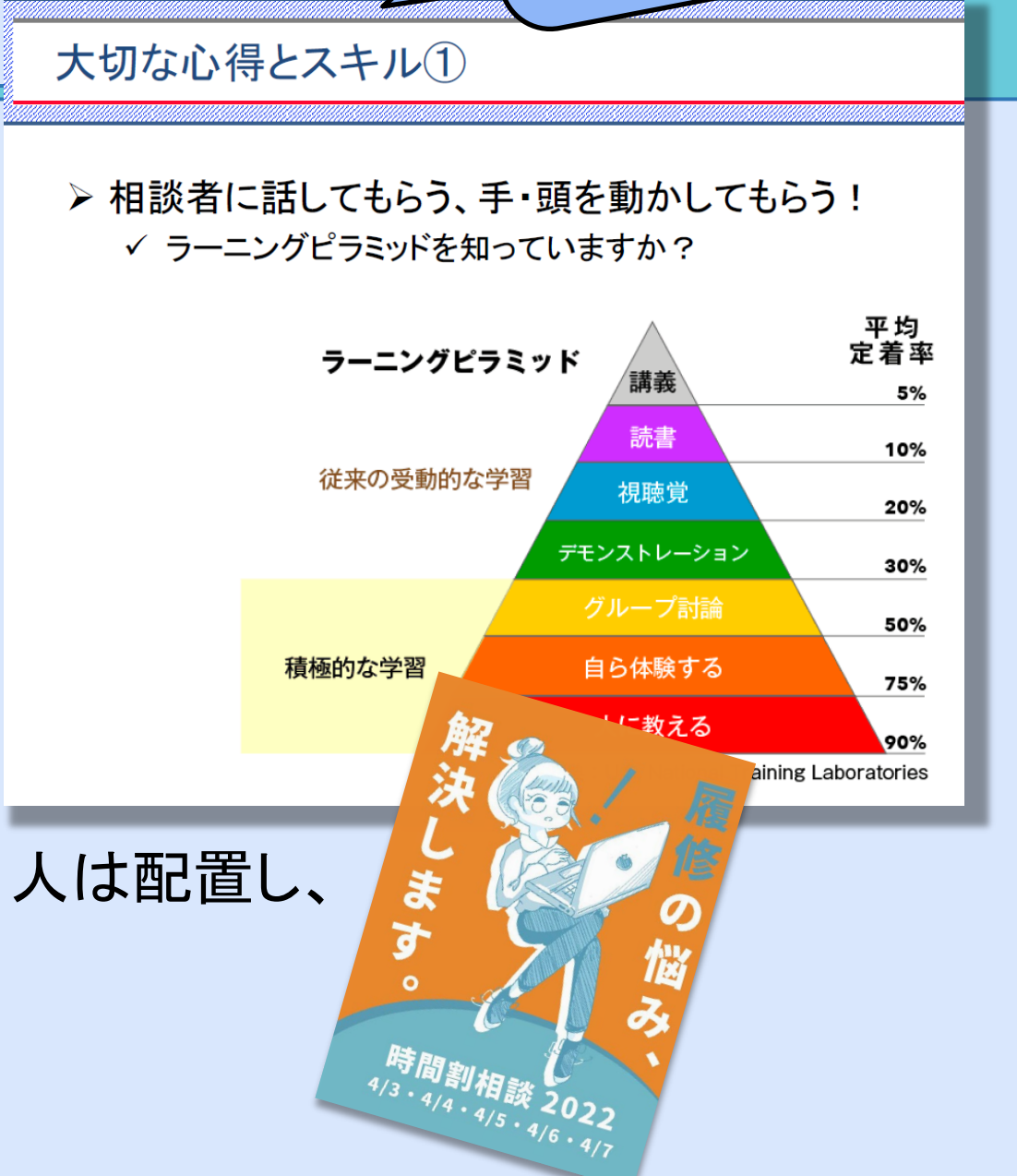
◆シフト作成

相談者(新入生)と同じ学部・学科の先輩が対応できるように、各学部必ず1人は配置し、シフト表はオンラインで共有

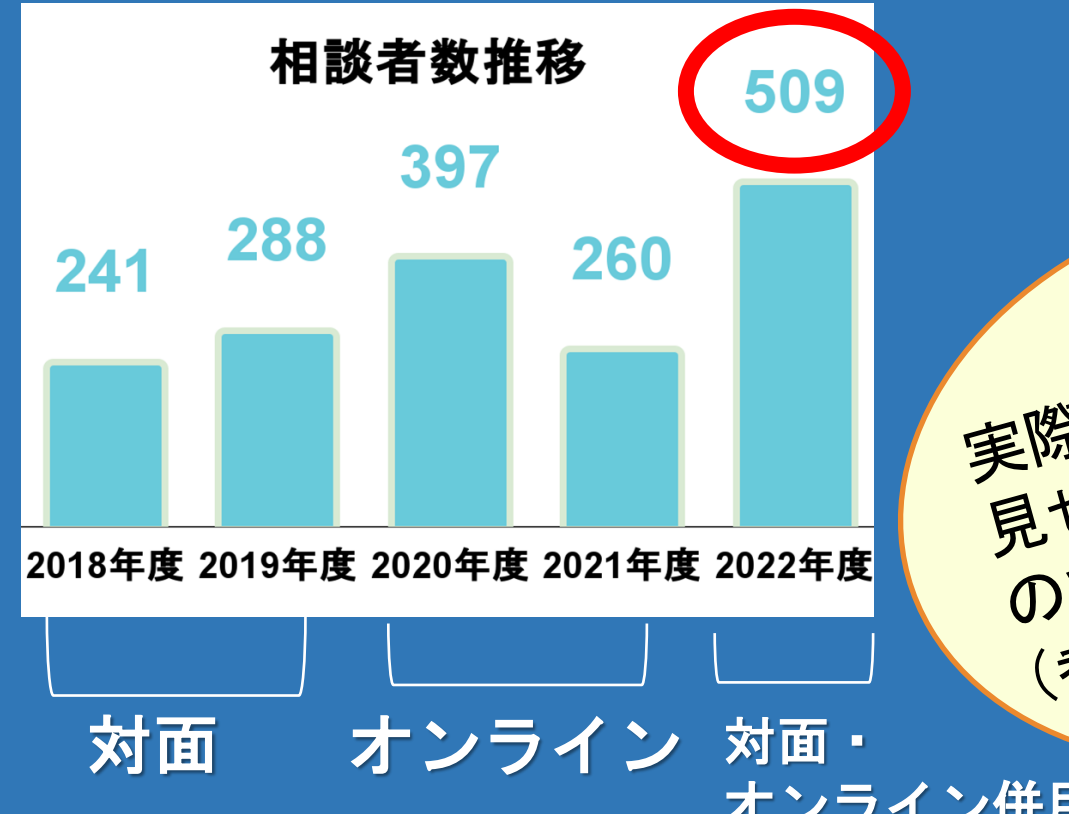
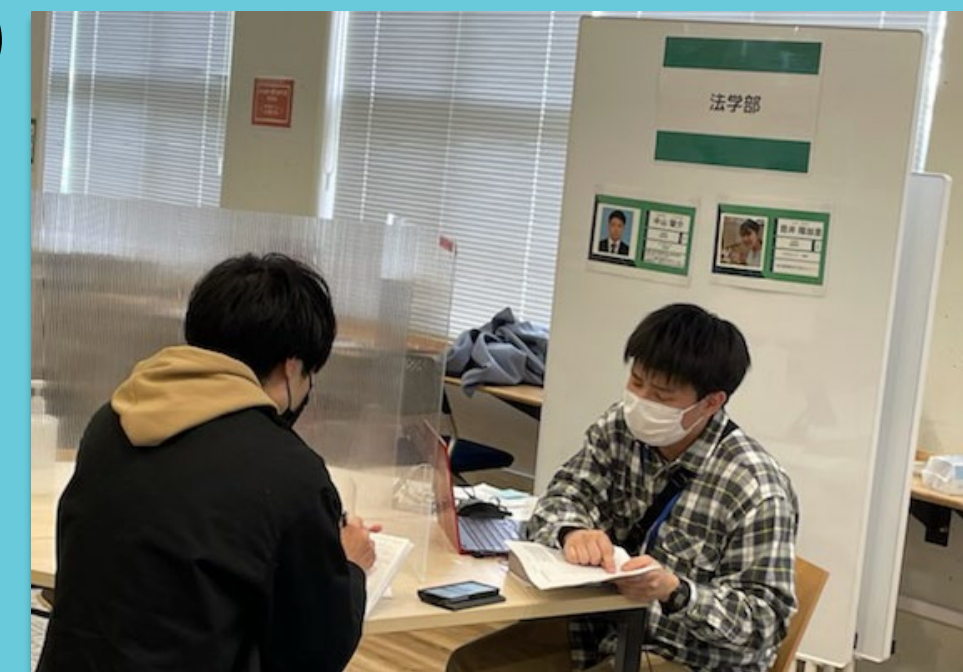
◆告知

学生ポータルサイトへの掲載や、ガイダンスでの宣伝、チラシ配布、SNS等

ティーチングではなくコーチング! 「在学生コーチ」として対応。

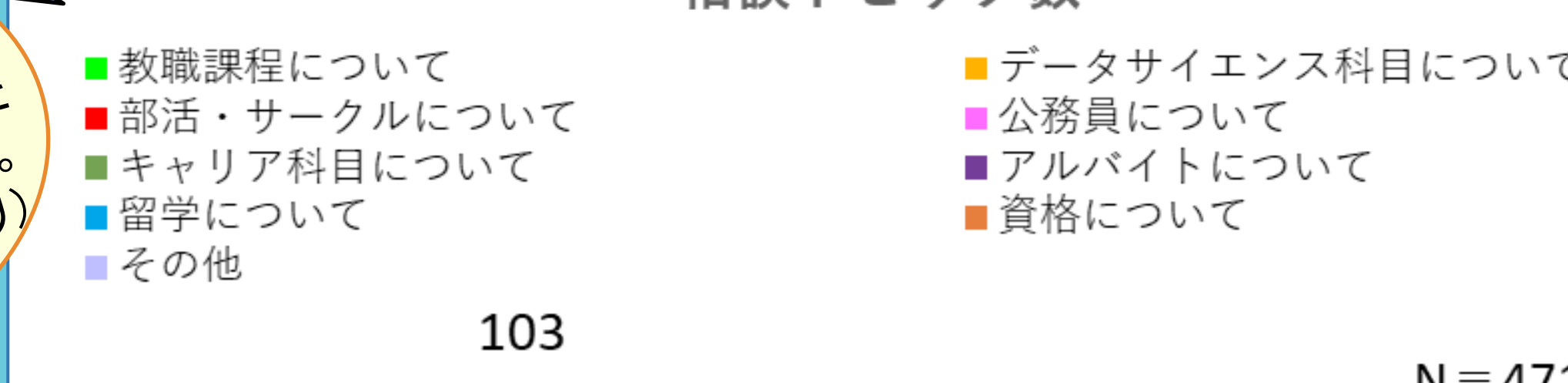


5. 実践方法・結果



時間割以外の相談にも対応!

実際の履修登録画面を見せながら教えてくれたので分かりやすかった。(参加者アンケートより)



- 対面およびオンラインで実施。
- 対面個別相談: 新入生と同じ学部の先輩が相談に対応。
- Zoom個別相談: 各学部のブレイクアウトルームを作成して対応。
- 参加者: **509名の新入生**(対面・オンラインの合計)。
※新入生総数1,403名の約36%
- 各学科の時間割に関する質問のほか、大学生活全般への相談も。
- 在学生コーチには、終了後に**オープンバッジ**を付与。

6. 振り返り

①重複する質問内容

多くの学生から、履修登録に関する基本的なことに関して聞かれることがあり、共通した悩みがあることがわかった。

②「時間割」以外の相談も多数寄せられた(グラフ参照)

時間割を組むことは、学生生活について考えること。部活やアルバイト等についての質問にも対応した。

③コミュニケーションアプリ「Slack」の活用による情報共有

在学生コーチ間の連絡手段。準備・当日ともに円滑な情報共有と迅速な対応が可能に!

④Googleスプレッドシートによる情報共有

予約状況を在学生コーチ全員で即時に確認できる。

「学長との懇談会」を実施し、結果報告。

⑤学生の学び合いの促進

入学前「入学準備プログラム」→入学後「時間割相談」→在学中「レポートの書き方講座」「授業サポート」のように、上級生と下級生との学び合いの場が繋がっている。

⑥上級生の在学生コーチが与える安心感

実際に多くの授業を履修した経験がある上級生の話は説得力がある。

⑦アウトプットの場

ピアサポーター養成研修および事前研修「履修の手引」読み方講座」の知識を活かし、ピアサポーターとしてのアウトプットの場となった。



7. 課題

◆重複する質問への対応

同じような質問への対応を行っていた。

◆サポーター以外の学生の協力を得たい

部活・サークルに関する質問が多いため、部活動に関わる学生にも協力してもらいたい(職員間での部署連携も必要)。

◆対応するサポーターの数

より多くの授業に関する情報を提供するためには、在学生コーチの数を増やす必要がある。新入生が翌年度に在学生コーチとして活躍するサイクルを定着化させたい。

8. 今後の展望

◆重複する質問の一斉解消

大勢の新入生に一度で説明できる**ガイダンス**を開催したい。

◆在学生コーチの募集と増員

◆多岐に亘る相談内容を教職学協働で共有

◆対面・オンライン併用の定着



今後もよりよい学習支援を提供し、学生同士の学び合いがより促進されるように、活動していきます!

←Twitterはこちら